

保護者の皆様

仙台市立七北田小学校
校長 相澤 経利

令和元年度 学校教育活動に関するアンケート結果について

春暖の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に對しまして、御理解と御支援を賜り深く感謝申し上げます。

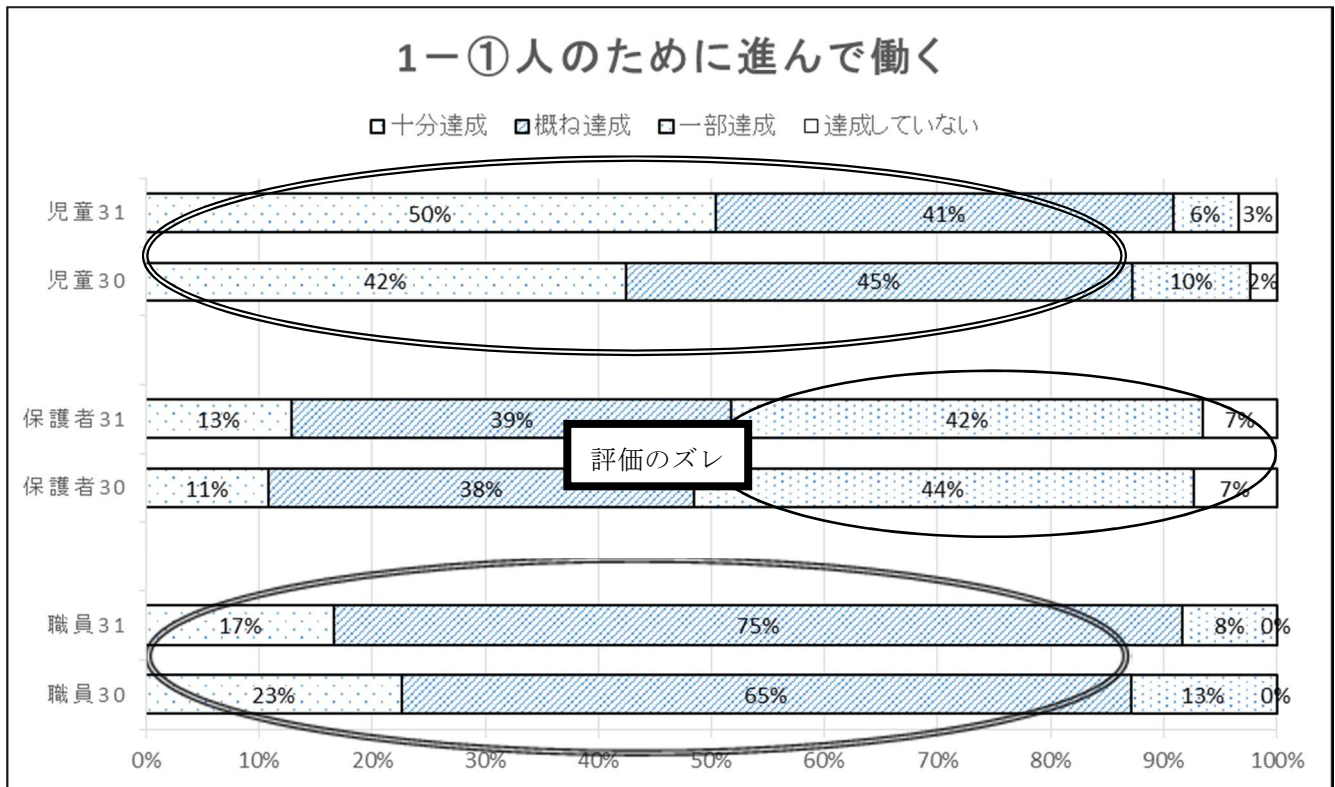
さて、過日御協力いただいた本校の教育活動に関する保護者アンケートの結果がまとまりましたので御報告いたします。併せて、教職員・児童の自己評価と過日開催した学校関係者評価委員会で出された御意見や御助言を御報告いたします。

学校といたしましては、アンケート結果並びに学校関係者評価委員会の方々からの御意見や御助言を、今後の学校運営の改善に生かし、よりよい学校づくりに努めてまいります所存です。

保護者回答数 674 / 704 95.7%

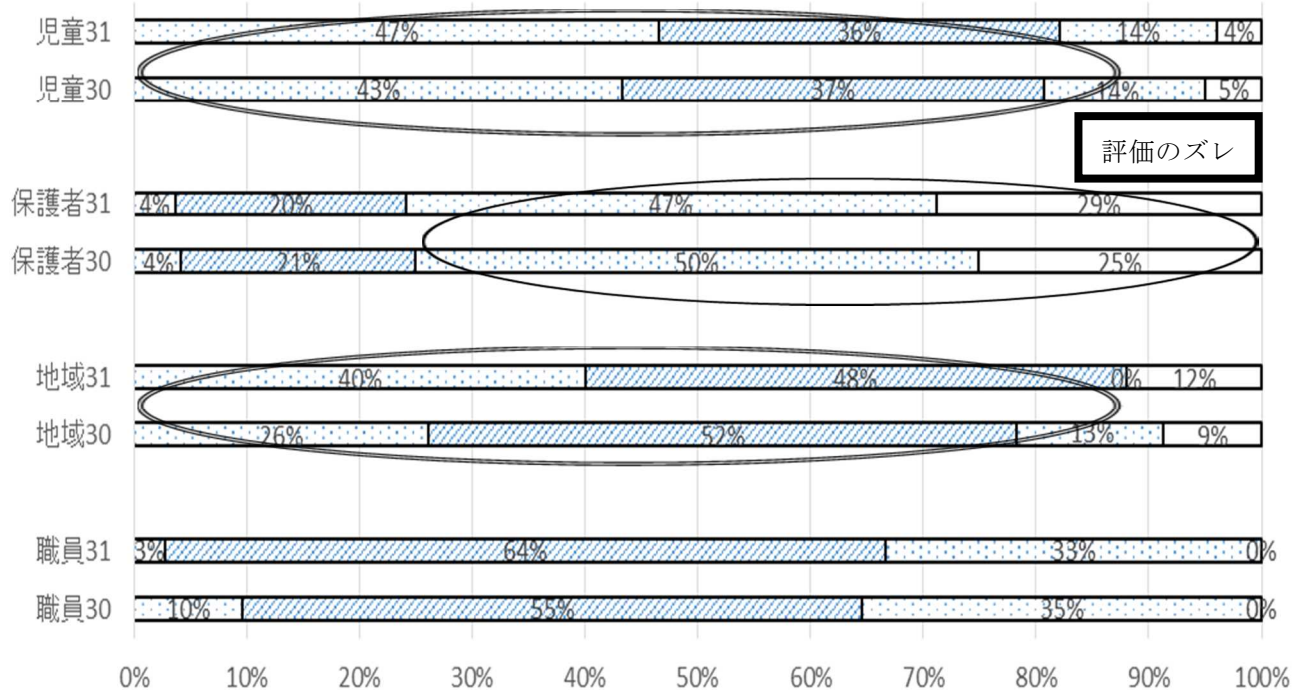
= 棒… プラス要因 - 棒… マイナス要因・検討要因

1 本校では今年度、学校・家庭・地域の協働型学校評価の目標を「もっと人のために働こう！」として取り組んでいます。



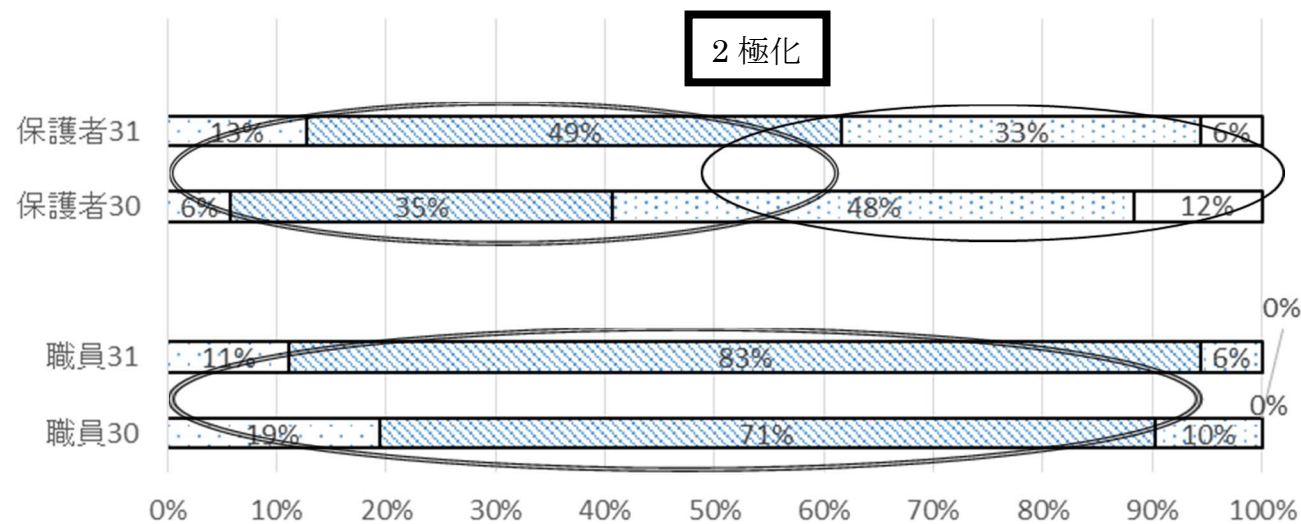
1-②校外で人のために進んで働く

□十分達成 □概ね達成 □一部達成 □達成していない



1-③「我が家のめあて」への取組

□十分達成 □概ね達成 □一部達成 □達成していない



【自由記述】

- 夏休みはお手伝いはできていたのですが、宿題でなくなるとやらなくなりました。今後はまた、声掛けしたいと思います。
- アサガオの種くばりが中止になって残念でした。天候や児童の体調を考慮してのことなので、仕方ありませんが、ボランティア希望のママたちも楽しみにしていたので、別日に設定できると良かったと思います。

- 地域の人のためになることは、子ども会にも入っておらず、何をしなければいけないのか理解していない。家庭でのお手伝いと違って、外で人のためというのが、学校生活でのクラスの係や給食当番ぐらいしか思いついていない様子。
- 言われて仕方なく手伝う。ネガティブ発言が多い。友達の話はよくほめる。
- 「地域」の人のために働こうというのは、なかなか難しいのではないかと。具体的な事例を挙げてもらえると良いのではないかと。
- 親としては子ども会や地域の行事などに積極的に参加しているつもりだが、子供自身は何が地域の人のためになる活動なのか具体的な案が出せないでいる。学校でヒントになるような提案をしてもらえたらうれしいです。
- 「もっと人のために働こう」の目標は大変すばらしいと感じており、積極的に考えさせ、取り組ませたいものです。ただ、低学年では、何が人のためになるのか、何をすれば良いか分からないという問題もあります。保護者がヒントを与え、一緒に考えることとなりますが、実際めあてはいつも同じような内容になってしまいがちです。
そこで、低学年の子供たちが自分事としてとらえられるよう促すために、学校内で高学年の子供たちの話を聞く機会を設けたり、保護者向けに具体例を盛り込んだ実施の手引きなどを作っていただくとありがたいです。実際に「我が家のめあて」が実りあるものになるようにと考えております。"
- 「もっと人のために働こう！」に関しては、6年生として意識している児童も多いが、「やらされている」という思いから抜け出せない児童も見られる。→自分で考えた「人のために働く」機会を増やす。6年生は働かなければならない場面が多いので、その役割への導き方を工夫する必要がある。
- 人のために働く機会や地域とつながる機会も6年生は多くあったため、達成することができたように思う。
- 学年キーワードである「気動戦士」として、「気付き、動く」ことに喜びを持つ子供たちが増えてきた。これを地域とのつながりに生かしていきたい。また、学年目標の「優笑ユーモラス」から「優しい笑い」と「人を傷付ける笑い」について考えてきた。温かい学級をつくるために引き続き働きかけていきたい。
- 校舎の清掃も大切なことだと思う。
- 子供たちは、比較的自分の良さや頑張りを肯定的に受け止める素地ができているように思う。大事にしていきたい。
みんなのために働く具体的な場面や姿を、教職員が同じイメージを持って指導できているかなと思う。→発達段階に応じて、低学年ではこんなことができるといいね、高学年ではこういうことができるといいね、みたいな話し合いを持ってみてはいかがでしょうか。

【学校運営反省会より】

- いさげ：家庭でのお手伝いを進んで行くことを推進し、各家庭からの協力が得られた。各係や清掃・給食当番として自分の役割を自覚して進んで取り組むことが出来た。
- 1年：給食や清掃の当番活動や係活動を頑張ることが、周りの人や誰かのためになるということを伝えてきた。生活科の学習の「自分で〇〇できたよ」を冬休み中の課題として家庭で取り組ませた。大掃除や年越しの行事など家庭でも家族の一員として頑張る様子が伺えた。
- 2年：まだ、自分から進んで行くということは難しく、係活動や当番活動を通して、また高学年の子たちを手本にしながら経験を積んでいる。1～3月のめあてでも「人のために働こう」の項目を設け、一人一人がめあてをかかげ、意識しているところ。
- 3年：係活動のほかにクラスの当番を作っていて毎日活動している。自分の仕事のほかに手伝う児童もたくさんいる。家庭ではたくさんお手伝いをしていて喜ばれている。これからも続けていくように声掛けしていきたい。

- 4年：清掃活動で学校のみんなのために働き、校舎をきれいにすることに、やりがいを感じて取り組んでいる。係活動で、自分の特技や好きなことを生かし、活動している。周りのみんなが笑顔になることに達成感を感じている様子である。
- 5年：「気動戦士」をキーワードに自ら気づき、働くことにやりがいや喜びを感じている。仕事や手伝いも、呼びかけると喜んですぐに動いてくれる。お家でも自ら働く児童が増え、家庭からも協力を得られている。
- 6年：最高学年として、人のために働くことを意識付けるために、「今日の私」に「人のために」の欄を設け、毎日取り組むように励ました。すいせん通りの植樹活動、1年生の給食の下膳活動、行事で使うイスの準備や朝会後の片付け、校庭の整地や雪かきなどに取り組むことができた。責任を持って行うが、気付いて動くことができる児童が増えるようにしたい。

【学校評議員・学校関係者評価委員会から】

- 七北田小は、「行きたくなる学校」になっていると思う。子供の記憶に残るように、親として、地域のために活動している姿を見せることは、大変重要である。
- 「我が家のめあて」の保護者自己評価が、昨年と比較し20ポイントも上昇したことは、素晴らしい。お母さんたちが忙しいなか、子供たちに働く喜びが実感できるよう関わっていることが、数字からも見える。子供だけでなく、お母さんたちに拍手を送りたい。
- 回答率が高い、意識のズレが生じているのは、保護者が真剣に答えている証拠だと思う。自分の思っていることを公表し、保護者がお互いの考えを確かめ合うことが重要。親の考えを知り、子供たちをどのように育てていくのが大切である。子供たちはとてもよくやっている。
- 資源回収等の様子を見ると、保護者の方が一生懸命である。子供が自ら活動できるようになればと思う。
- 家庭も地域も保護者も協力して活動していることがよく分かる。忙しいのは十分承知だが、「親の背中を見て、子は育つ」と言うように、親の姿を見せる、小さな積み重ねがとても重要。
- 「仕事をしたらほめる」ということを、保護者に意識してもらいたい。

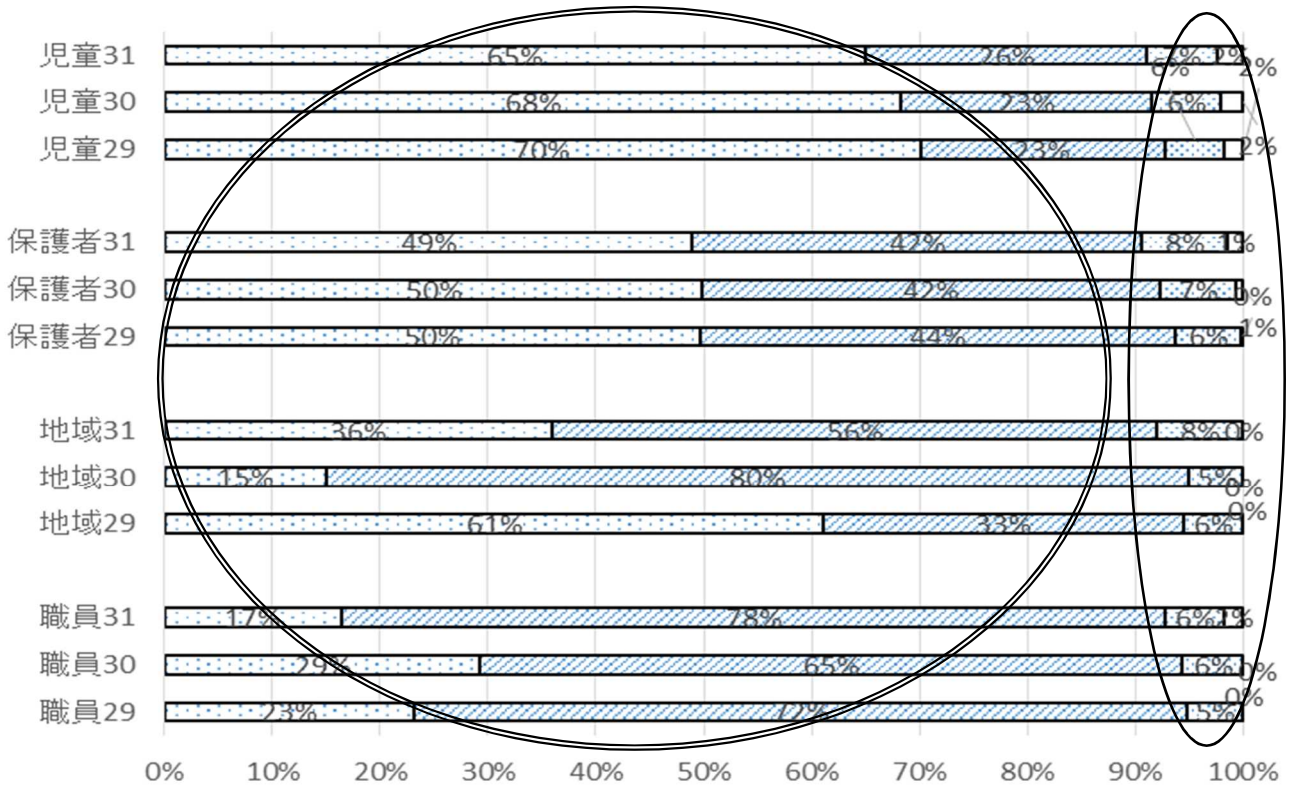
【学校から】

- 「人のために進んで働く」では、児童91%（前年比+4）、教員92%（+4）が十分に達成・概ね達成としており、とても良好な結果になっています。しかし、一方で保護者は49%（-2）が一部達成・達成していないとしており、児童・職員と保護者間で評価のズレが生じています。
- 「校外で人のために進んで働く」では、児童83%（+3）が十分に達成・概ね達成としており、とても良好な結果になっています。しかし、一方で保護者は76%（-1）が一部達成・達成していないとしており、児童と保護者間で大きな評価のズレが生じています。児童の学校での姿と、家庭に帰って見せる姿の違いや、「人のため」の捉え方の違いが現われていると考えられます。学校内だけでなく、学校外でも人のために進んで働く姿こそが、協働型重点目標「進んで働く」の求めるところと考えています。
- 「我が家のめあて」においても、職員94%が十分に達成・概ね達成としています。保護者は62%にとどまっていますが、前年比+21%と大きく伸びております。「我が家のめあて強化週間」などを通して、御家庭で積極的に取り組まれた成果が表れていると思います。
- 保護者から「何をすれば人のためなのか悩んでいる」という御意見をいただきました。児童の発達段階に応じて、活動内容等の紹介をしていくとともに、協働型重点目標の広報・啓発活動にも力を入れていきたいと思っています。

2 本校では、「もっと友達の輪を広げよう！」を学校目標として取り組んでいます。

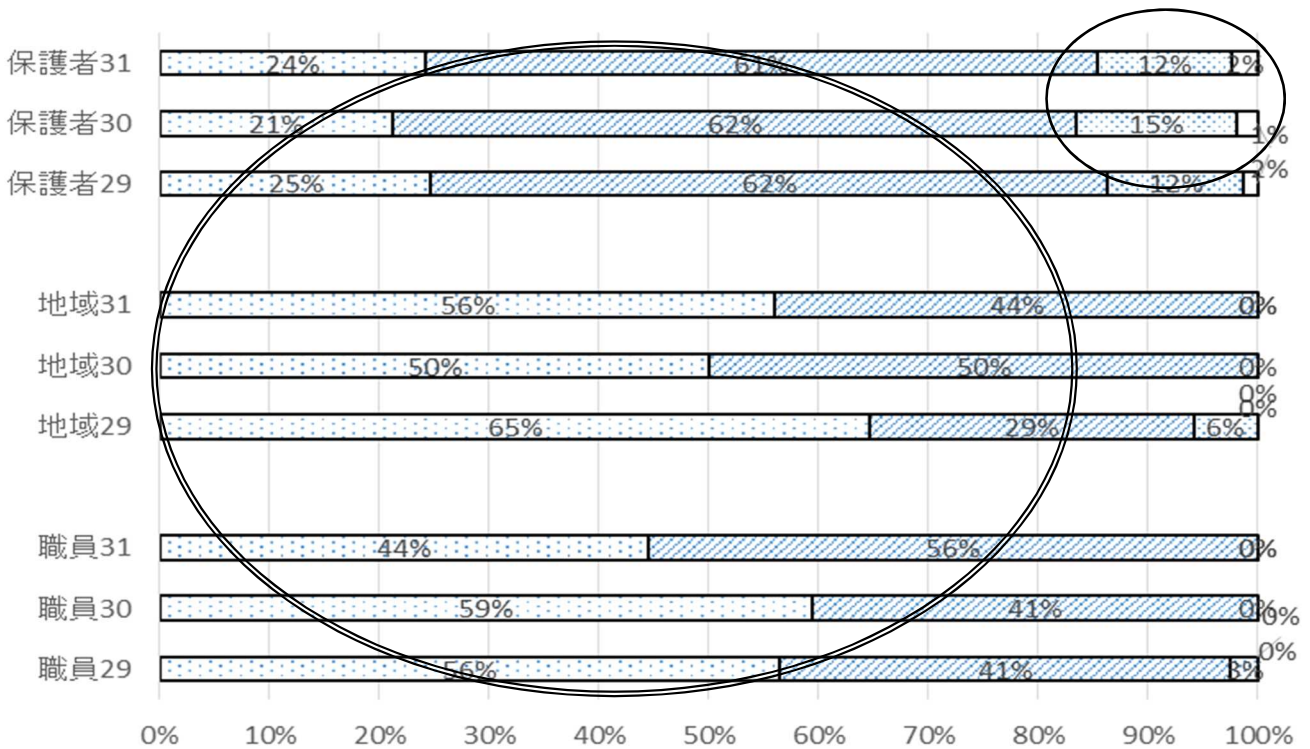
2-①しない、させない、許さない

□十分達成 □概ね達成 □一部達成 □達成していない



2-②いじめ防止

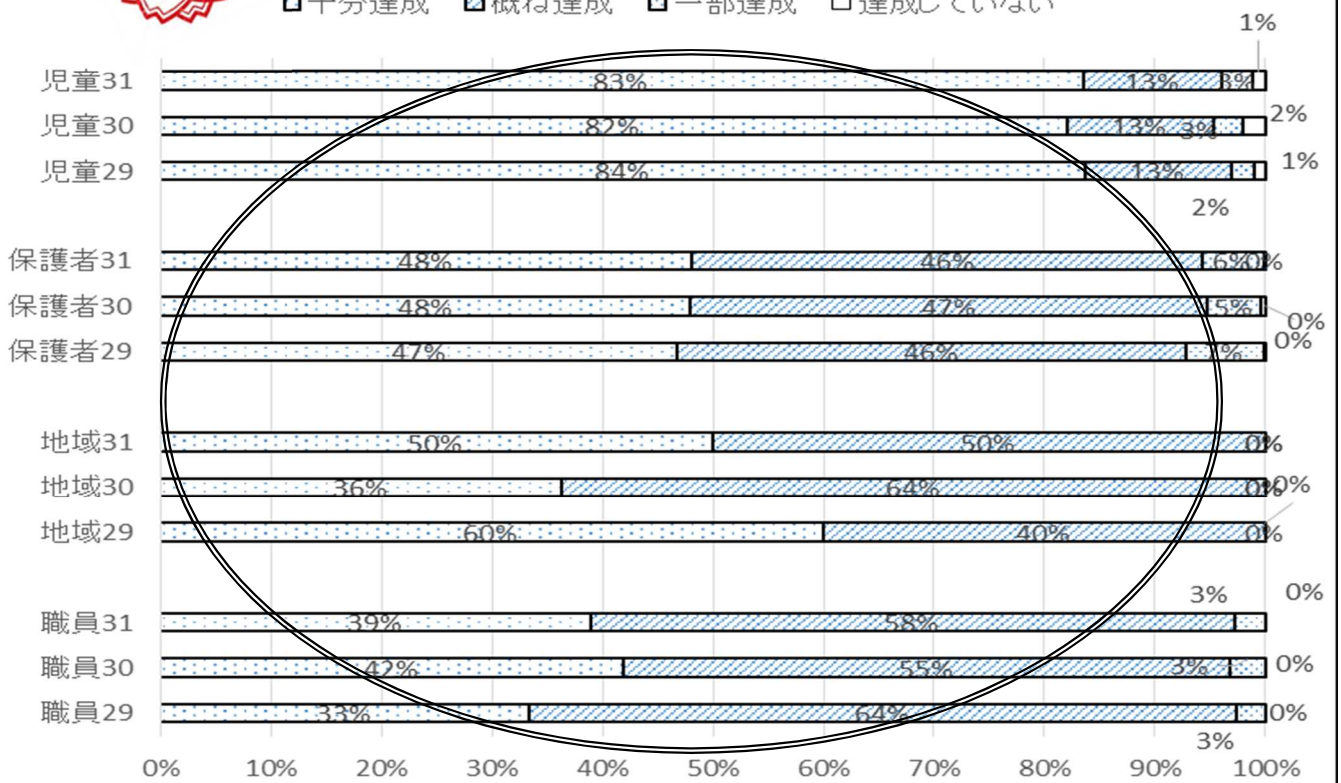
□十分達成 □概ね達成 □一部達成 □達成していない





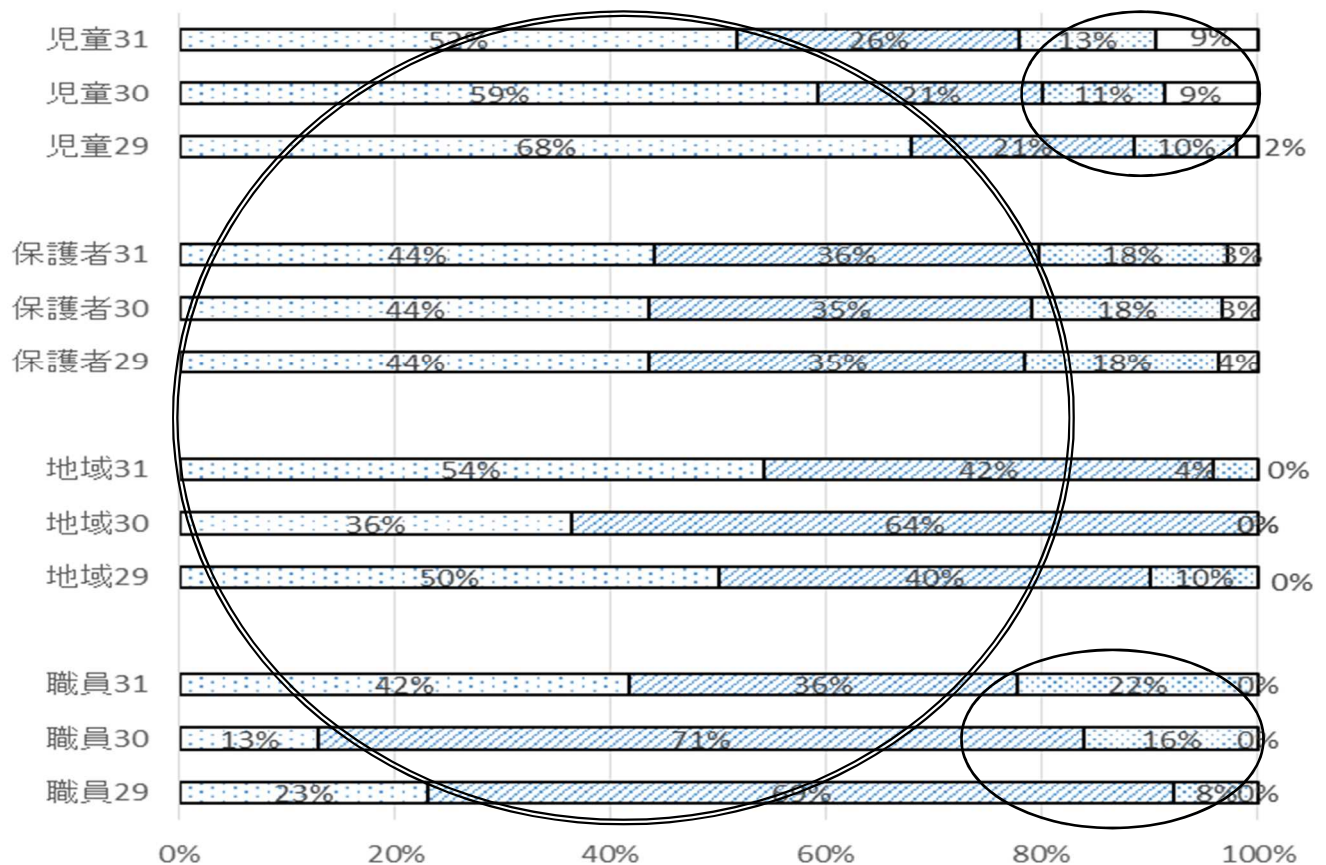
2-③ 友達と仲良くしている

□ 十分達成 □ 概ね達成 □ 一部達成 □ 達成していない



2-④ 進んで運動や外遊び

□ 十分達成 □ 概ね達成 □ 一部達成 □ 達成していない



【自由記述】

- 自宅では同じマンションの学年が異なる子供たちと仲良く遊ぶようになり、今まで興味なかったスポーツや本などに興味を持つようになりました。とても成長したように思います。学校でももっと多くそのような機会を持っても良いのではと思います。"
- いじめ防止に取り組んでいただき、とてもありがたいです。引き続きよろしく願いいたします。
- これからも、いじめのない学校にしていきたいと思います。
- 友達とのコミュニケーションに関する問題が多くあったと感じます。まだ慣れない環境で自分とは異なる性格の子、また時に乱暴な言葉づかいをぶつけてくるような落ち着きのない子との関わり方に大変苦勞しています。問題が発生した際は表面上だけでなく何故その様な問題が発生したのか等、細やかに学校側で対応してほしい。そしていじめにつながる、不登校の子供たちが出てくることのない様、一人一人が楽しく安心できる学校生活を送れる様にしてほしいです。その場限りの対応では意味がないので、先生方にはもっと厳しく教育してほしいと思います。
- いじめアンケートなどを通して、問題解決に向けて丁寧に対処してくださっていると思います。
- 2年生になってから、クラスの雰囲気は良く子供も成長していると感じます。
- いじめについて、ふざけたり、からかったりする友達に対して、過敏に反応してしまうことがあるような気がします。その反応した態度を見て、さらにかからわれたり、攻撃の対象になってしまうこともあるのかと思います。「されていやだと思ふことはいじめだ」という認識でいるため、からかわれただけでもいじめられたと受け止めてしまうので、親としても対応が難しいと感じています。
- 子供たちへのいじめのアンケートを時々行ってほしい。出席番号が近いとなにかと同じグループになったり席が近かったりと離れたくてもなかなか離れることができず苦しい思いをしているようです。
- いじめの調査や防災訓練など今までの小学校と比べてしっかり力を入れていると感じます。学力にももう少し力を入れてもいいかなと思う時があります。
- 七北田小学校は、教育をきちんとしてくれていました。娘も一年一年成長してくれました。いじめは、きちんと小学校で防止しているので、安心して通わせることができます。
- いじめアンケートなどを通して、小さなことでも見落とさないよう丁寧に対処してくださっていると思います。
- これは仕方ないことかもしれませんが、「見て見ぬふり」というのは感じました。子供もいじめられた過去があり、その時は相手が年上で、階段から突き落とされたり、むりやりズボンを下ろされたりとひどいいじめで、子供に原因がなかったため、相手に直接言いましたが、いじめかどうかあいまいで、された側にも原因があると見て見ぬふりをするようです。
- 学年をこえて遊ぶ時間が多くあった方が良くと思います。
- いじめ防止きずなキャンペーンの「今日の〇〇さん」に取り組み始めて、「だれかに親切に接しよう」「良いところを見つけよう」という意識が高まったように感じます。クラスで続けようと思います。「〇〇してはいけない」ではなく、「〇〇しよう！」とプラスな声掛けを増やしたいです。
- 友達の輪を広げよう→児童会中心に行った「今日の〇〇さん」が良かった。クラスの子からも好評で、期間が終わった後も行えた。みんなで行える企画はいいと思った。
人のために働こう→高学年にとって声掛けもしやすく、いい目標だと思う。

【学校運営反省会より】

- いさけ：6年生がよい行動の手本を見せてくれている。下学年もこれからの自分の姿としてとらえ、学級の中でもよいつながりができている。交流学級では、どの学級もいさけの子どもたちを温かく迎えてくれている。いさけの子どもたちも、楽しく活動できているし、楽しみにしている。
- 1年：「つられない」を合い言葉に、自分の言動について考えることを声掛けしてきた。記録用紙やなわ跳びカードを用意してマラソン、なわ跳びに参加するよう声掛けし、子供たちも意欲をもって参加した。友達の気持ちを考える指導を継続し、友達へのあたたかな声掛けや、友達を助けようとする姿が増えた。
- 2年：友達と仲良くする、困っている人がいたら助ける、ありがとう、ごめんなさい を伝えることができる温かな学級作りを学年で取り組んできた。友達に優しく接する経験を積んでいる。マラソンやなわ跳び、鉄棒などカードを活用し、外遊びを奨励した。意欲を持って取り組む姿が見られた。

- 3年：朝・昼・放課後とふだん校庭で外遊びをする子が多く、朝マラソンや朝なわ跳びに参加する児童も増えてきた。各クラス特色を出し、係活動やリコーダー、長なわ跳びなど、クラスみんなで一つのことを頑張ることを通して、互いに認め合ったり、励まし合ったりする姿が増えてきた。
- 4年：言葉足らずで普段からもめることが多いので、よく話をさせるようにしている。個人間の問題は、学級の問題として公にしてみんなで考えることも大切であると感じている。学年で声掛けをして、朝の活動に参加する児童が増えてきている。持久走大会を行うことで意欲を持たせている。外遊びをしている児童が多い。みんなで誘い合って遊びの和を広げていきたい。学級での会社活動が活発。1学期末からクラスマッチを行っている。学級、学年が団結して意欲的に活動している。
- 5年：「今週の私」「いじめアンケート」等の活用でトラブルを早い段階で解決することを目指している。学年目標に「優笑（ユーモラス）」を掲げ、仲間を思いやる態度が育成されている。朝マラソンは高学年の参加する姿を低学年に示すため、積極的に参加を促してしている。参加に消極的な児童も見られるため、今後の意識を高めていく必要がある。クラスマッチを行い、学級の力、学年の力を楽しみながら高めていくことができた。
- 6年：「今日の〇〇さん」、「学級の時間の活用」、「会社活動による企画」を行っている。朝活動は6年生が引っ張っていくという意識が芽生え、自分たちから参加することができるようになってきた。友達に対して、心配する声掛けがあったり、受容する様子が見られたりして、周囲の子が育っているように感じる。仲間として注意する、仲間意識が薄く「我、関せず」という様子も見られる。「目に見えないからいいだろう」、「ばれないからいいだろう」という思いから、SNSの使用でトラブルに発展している。注意が必要だと感じている。

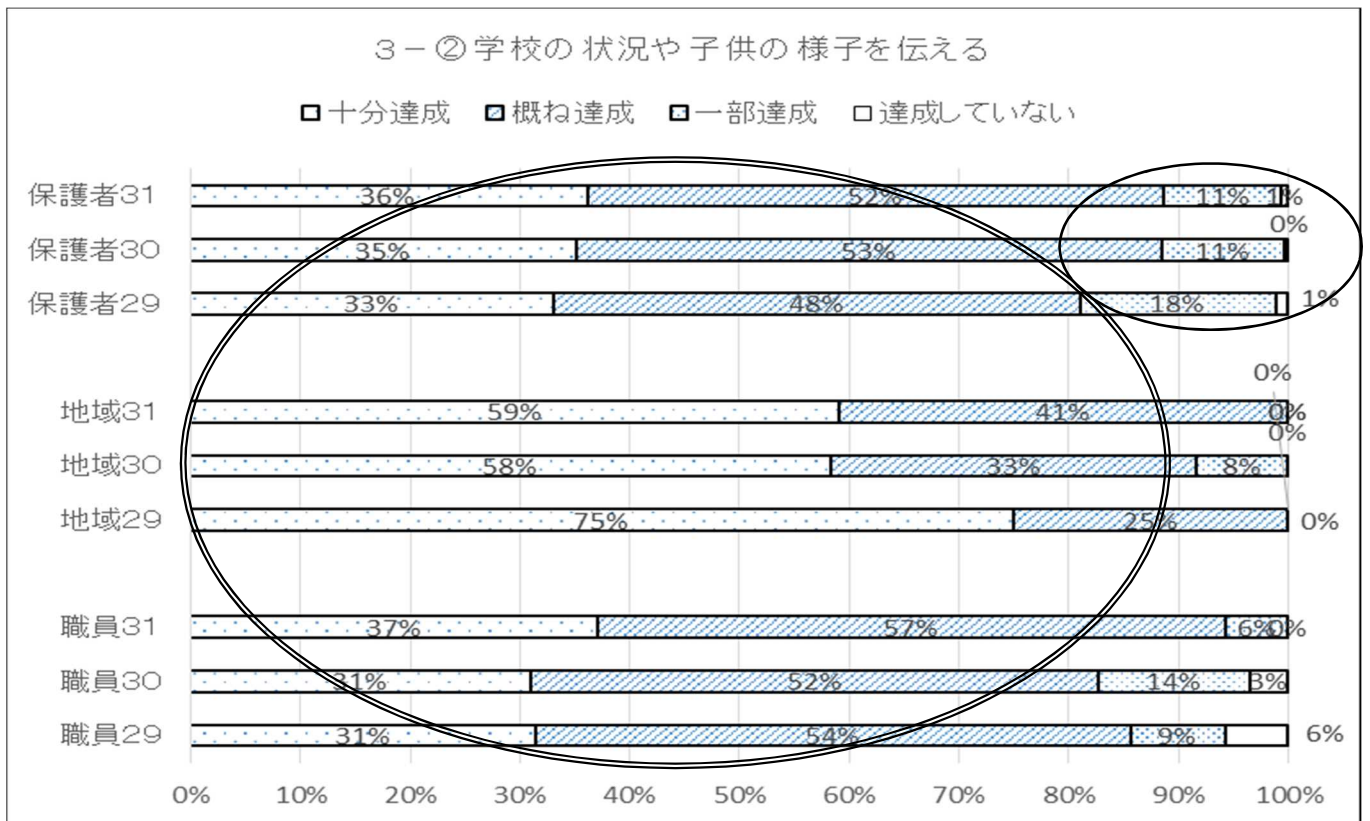
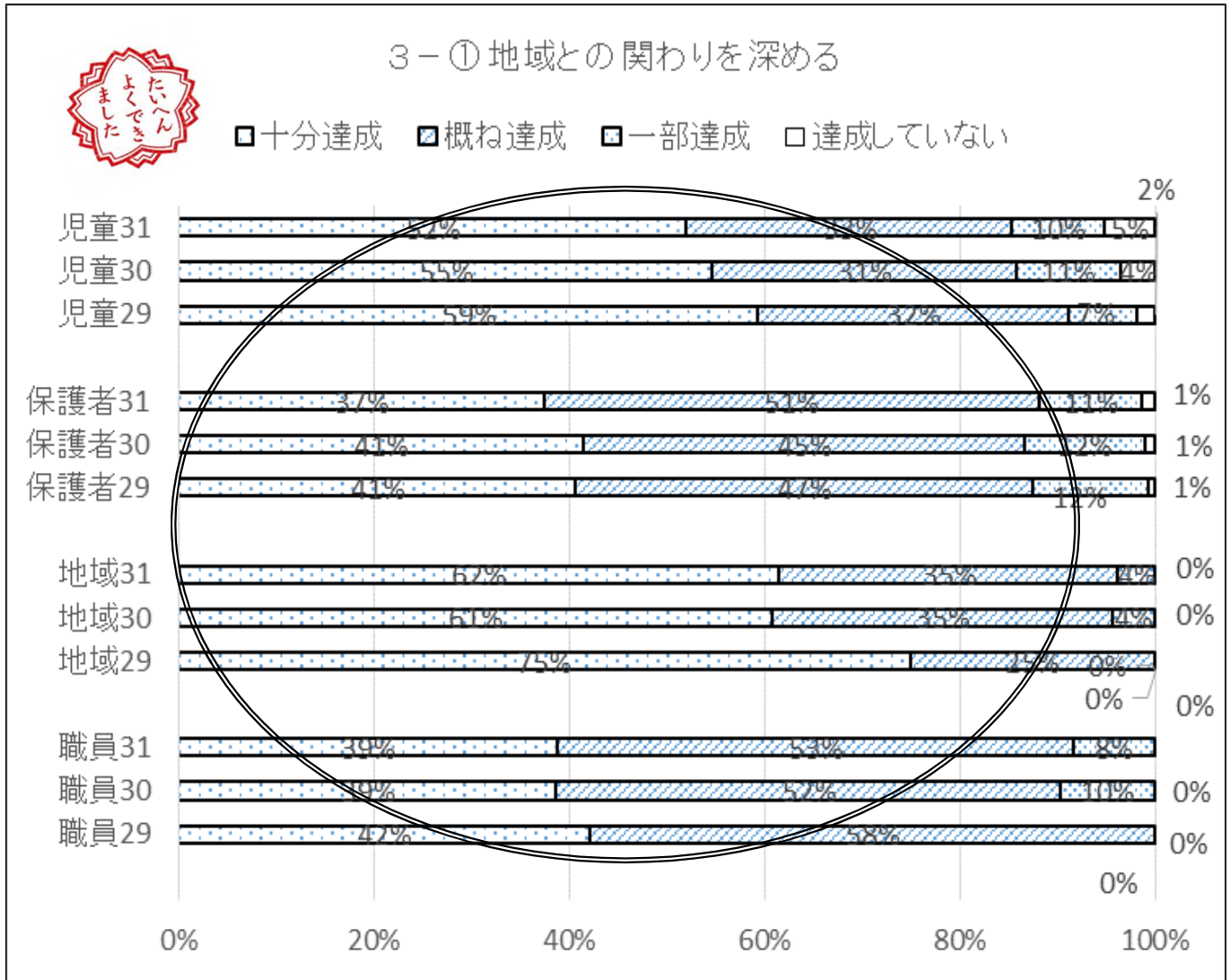
【学校評議員・学校関係者評価委員会から】

- 友達と仲良く遊ぶ、進んで遊ぶことは児童にとって大切である。学年を越えて仲良くしていくことが、地域行事や安心安全につながっていくのかもしれない。
- 子供同士のトラブルが起きるのは、学校では当たり前だが、子供が自分で解決する前に保護者が介入しているのを耳にすると心配である。
- 児童の言葉遣いが気になるという意見が多く寄せられている。
- スマホのトラブルは、中学校内でも問題になっている。時代は進んでいるので、「持たせない・使わせない」という後戻りはできないだろう。情報機器の適切な使い方について、与える保護者が責任を持って伝えていくことで、最悪な事態は防げるかもしれない。
- スマホは、現代のツールである。トラブルに関しては、周囲が「おかしい」「変だ」と感じ、言える風土を作っていくことが大切だと思う。

【学校から】

- 仙台市では「いじめ未然防止」を最重要課題として、全市での対応に取り組んでいます。本校においても、「いじめをしない、させない、許さない」・「いじめ未然防止」の、具体的な取組として「学校生活ふりかえりアンケート」調査の実施、全児童との個別面談、保護者への連絡と連携、命を大切にする指導としての全校集会、道徳等での学級指導等を行ってきました。これらの活動について、十分達成・概ね達成の評価が85%（+2）あり、概ね御理解をいただいているものと判断いたしました。
- いじめが「発生してから対応する」という考え方ではなく、「問題が発生しにくい学校風土を作る」という考え方により、子供を被害者にも加害者にもさせない「未然防止」に努めていきたいと考えています。
- 「進んで運動や外遊び」については、今年度も外遊びを奨励し、朝なわ跳び・朝マラソンの取組も継続してきました。放課後には校庭で遊んでから帰宅する児童も多く見られています。これらのことから、児童・保護者・地域・職員とも80%近い達成の評価をいただいたものと思います。児童の評価で、一部達成・達成していないが、微増しています。今後も体力の向上を目指し、声掛けを継続していきます。

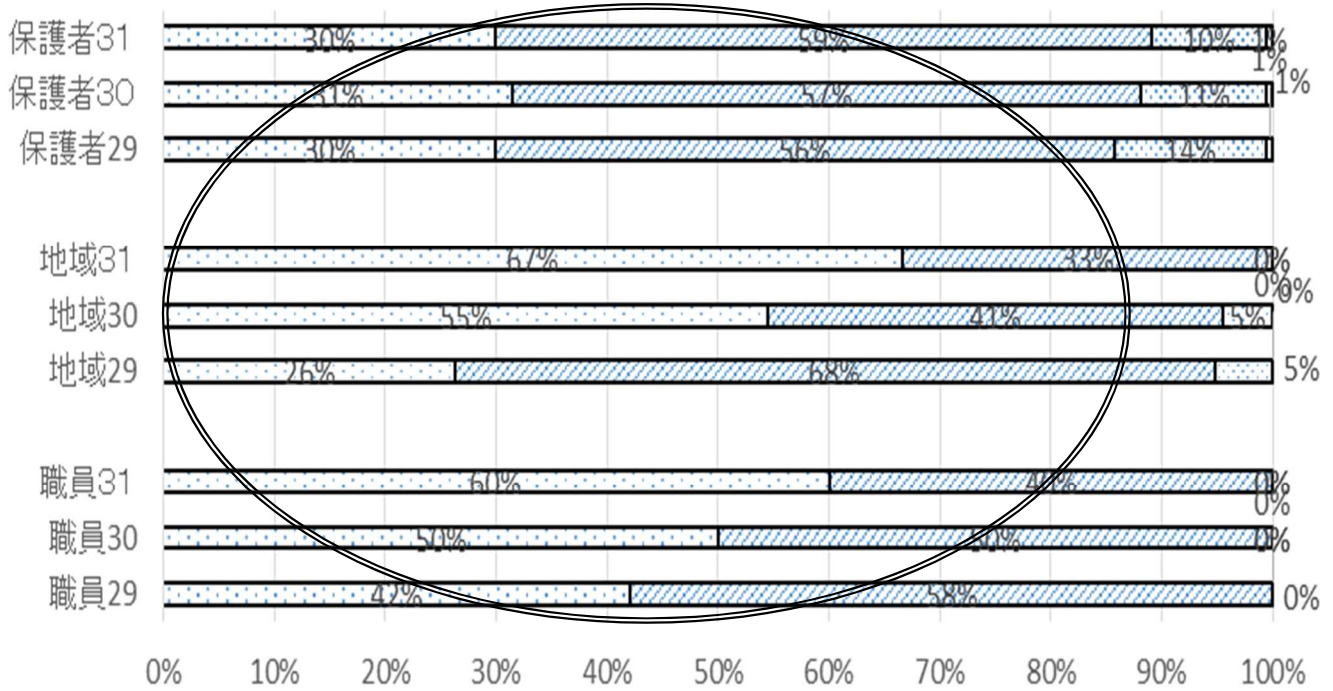
3 本校では、「もっと地域とつながろう！」を学校目標として取り組んでいます。





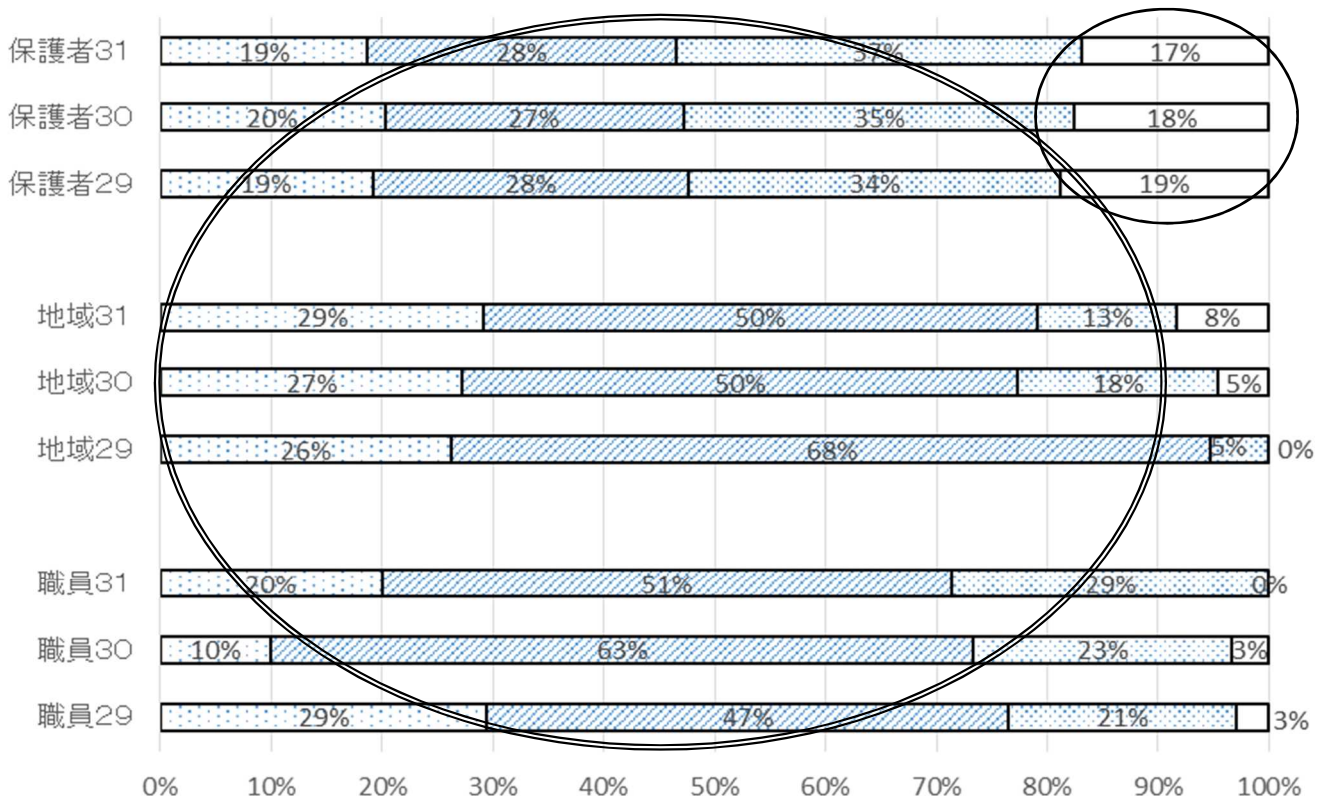
3-③安全安心な学校づくり

■十分達成 ■概ね達成 ■一部達成 □達成していない



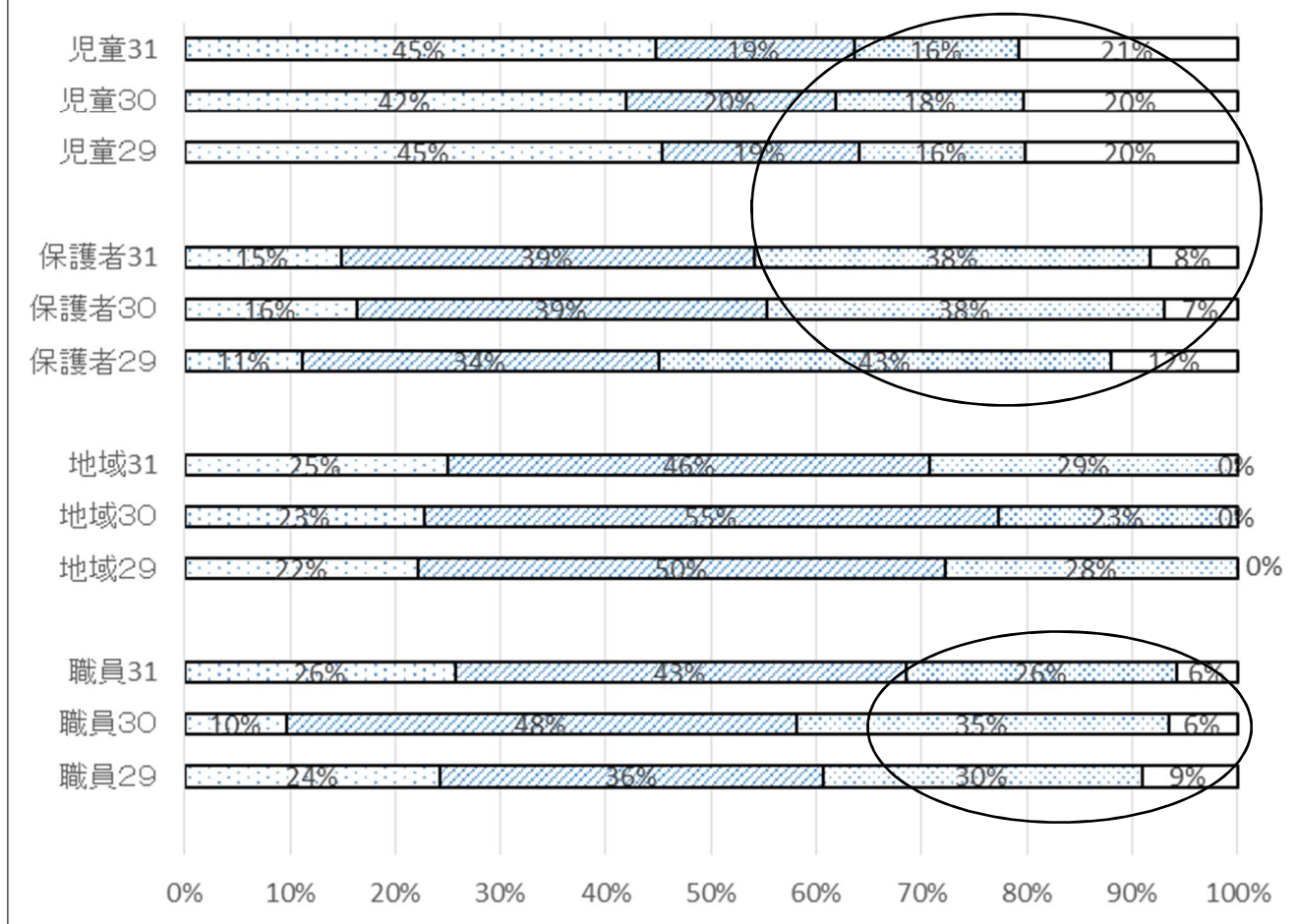
3-④子ども会や地域行事への参加を促す

■十分達成 ■概ね達成 ■一部達成 □達成していない



3-⑤ 地域行事などへの参加

□ 十分達成 □ 概ね達成 □ 一部達成 □ 達成していない



【自由記述】

- 地域の行事など不安が強いのか行きたがりません。「行かない」と言ったら、家から出ることも嫌がるので今は無理して参加する必要もないと思っています。もう少し本人に自信がついて参加してみようかと興味を示す時を待つつもりでいます。
- 土日などの子ども会やその他の行事案内を伝えても行きたがらない。
- 仕事が忙しいので、地域、PTA、子ども会など活動が多くても困る。
- 仕事が日曜日にもあるので、地域の行事や子ども会の行事にはなかなか参加できない。
- 学校の中での様子がいまいち伝わっていないことがある。問題があったときなど、担任の先生に自分の気持ちや、どうしてそうなったのかを伝えることができなかつたり、自分がいやなことをされて問題を起こすこともあったり…どうしてそうなったのかを言えるような環境を作って頂ければうれしいと思っています。
- 七の川、PTA、子ども会等の行事のお知らせをもらっても、具体的な内容（昨年の様子など）が分からず、参加しにくいと思っています。学校行事は、HPのブログで過去のものも現在のものも見れるのでとてもありがたいです。
- 地域活動に参加できない状況。今年は子ども会の参加も忙しくてできなかった。次年度は参加したい。
- 習い事や親の都合でなかなか地域や子ども会には参加できていない。
- 子ども会や地域の行事が土曜日にあることが多いので、習い事と重なってしまい参加できない。
- 親の体調、上の子に手がかかるため、周りに知り合いがいないために、地域との関わりはほとんどできていないです。

- 学校だよりでは少ししか子供たちの様子がわからないので、学級だよりなどがあれば良いかと思えます。家に帰ってからの子供とのコミュニケーションにもなると思えます。
- 周りの地域に子供が少なく、学区外のため子ども会等には参加できない。
- 近所に知り合いがあまりおらず、地域行事も良く分かっていない。習い事で子ども会に参加できない。
- クラスの様子、学校全体の様子や状況が見えにくいように思いますが、子供たちは他のクラスの子と親しくなったり、地域の行事に参加するなどして交流を深めているようです。
- ホームページで子供の様子が分かるのでうれしいです。
- 学校での活動でその都度ボランティアを募集していますが、児童一人につき、1回親御さんに割り当ててほしいです。みなさん仕事をしているのは同じです。人任せではなく、自分の子供の行事に参加するのは当然だと思います。人が集まらない内容の再募集の手紙も減りますし、平等ですので、ぜひご検討ください。
- 土日などの子ども会やその他の行事を子供に伝えても行きたがらない。
- 子ども会には入っていません。土日は習い事や家族と過ごす時間に当てたいため。学年だよりかホームページの写真どちらかで良いと思います。地域とつながる活動をもっと減らした方が良いと思います。現在、英語やプログラミングが授業に入り、県内学力の低下を配慮するためにも、通常の授業時間を増やした方がよいと思います。
- 学校だよりの子供たちの様子を写真でのせていますが、子供たちの表情が良く見えない。もう少し鮮明だと嬉しい。
- 各学年の行事を終えた後で、写真をホームページに掲載してほしい。
- クラスだよりを週に何回か発行してもらい、クラスの様子が分かってうれしいです。先生の負担が大きいと思いますが、ありがとうございます。
- 学校活動以外では、地域との関わりは持つことは難しいです。本人に学外でのイベントなどへの参加を声掛けしてみても興味がないので行かないとの返答になります。学校生活の中でそれなりに関わりを持っているので、十分だと思っていました。
- HPのブログが学年によりかなりばらつきがある。年間行事、総合の時間の使い方等改めて整理し、必要なものだけ残すという意識が必要だと感じる。地域とのつながりはここ数年で達成できたので、目標からはずすことも検討しても良いと思う。もっと他に大切にしたいことがあるのではないか。"
- 先生が一人一人をととても良く見てくださっていると感じます。いつもありがとうございます。家庭として、地域とのつながりが薄いと思っていますが、土日仕事があったりする中で日常的に何かに参加したりすることはできません。そのような中でも地域と関わりを持てる何かを考えていきたいと思っています。
- 歴史探検を通して、地域の方々と関わる事ができたことは貴重な体験になったと思います。年長者の方を敬うことやお礼の気持ちを伝えることも、学べたらうれしいです。同行して下さった方々だけでなく、訪問先のお宅の方などにもお礼を伝えすことができたら良いと思います。
- 子ども会等の活動には、その活動の目的が不明確に感じる点が多々あり、賛同できません。子供たちが楽しい思いをするのみが目的のように感じます。親のための活動であり、学校側のための活動となっているように思ったりしません。
- 地域とのつながりが強いので、緊急時は速やかに対応できると思う。親の参加や手伝いの募集が多すぎると、フルタイムで働く親としては感じている。
- 学校を通じた地域活動には参加させていただいておりましたが、子ども会やにこ本の活動には親子とも参加していないため、達成していませんでした。
- 以前は子ども会に入会していましたが、親の仕事や子供の習い事等で退会してしまいました。そのため達成していないを選んだ。
- 習い事を多数させており、子ども会の参加時間がなかなかとれない。

- 地域との関わりも深く、気軽に学校内へ入ることができるのはとても良いことだと思う一方で、セキュリティの面で少し心配に感じる。
- 子ども会は、習い事と行事が重なることが多く、入会していない。地域行事なども日程が合わなかったり興味がないものだったりすることが多く、特に参加を促していない。
- 習い事があるため、地域の行事に参加できません。
- 学校を通して地域の方々と交流できるのはとても貴重で良い経験となりました。これからも続けてほしいです。下校の時間が遅いことがあり、特に冬場は帰宅するまで心配です。外が暗くなる前に帰宅できない見込みの時はメールなどいただければお迎えしたいくらいです。安全パトロールをしてくださっている皆様には大変感謝しております。
- ブログをよく見させていただいています。修学旅行の時には、子供たちの様子がわかり、とても安心しました。
- 地域に開かれた学校の姿勢、先生方の様子はすばらしいと感じています。
- 「地域」や「家庭」を主語として尋ねる項目を増やそう。お互いの自己評価がなければ、大人の成すべき改善策が見えてこないと思う。
 - 地域は本校の学習の中で関わりを深めることができるように努めていますか？
- 地域と積極的に連携しようとしていることに安心感を感じます。
- 七北田児童館のボランティアをしています。子供たちは元気よく挨拶をしてくれますし、野菜の収穫の時期には、一生懸命手伝ってくれますので、私たちは子供たちの笑顔にいやされています。
 - J Aふれあいフェスティバルに市名坂小、野村小参加、七小不参加残念でした。昨年と同様でした。地域の行事に何とか調整できないのでしょうか。
- 学校だより等を拝見する機会が少なかったもので、学校の様子が少し分かりかねました。
- 市の模範（注目されている）となっている学校だと思います。その中で、先生方の御苦勞に感謝しています。ここに本部を含め、特に地域の人たちとの「接し方」「動かす力」を持っている学校です。
- 3年生は、総合「3年生教室」の活動を通して、地域のお年寄りとの関わりを深めることができた。また、計画、準備、実施の各段階で、進んで働き、友達と協力することの大切さを学ぶことができた。
- 子供たちは基本的に素直でやる気に満ちて人のため、仲間のためということ意識して生活している。一部の児童は未達成であるが、まずは基本的な情緒の安定が必要となるので、生徒指導に力を入れたい。低学年は地域の人と関わる学習があまりないので、おまつりや他の行事等に参加するように声掛けしている。

【学校評議員・学校関係者評価委員会から】

- 子ども会への入会をもっと促したり、地域の行事への参加させたりしてほしい。
- 児童は学校を通して地域とつながっているが、保護者と地域の関わりはうすい。学校から行事等の広報をしているので、保護者には伝わっていると思う。お便りにしっかりと目を通してあるか、保護者の意識にも違いがある。
- この地域は、転入が多いという特徴がある。世代間交流の実現に向けて、やはり子供が鍵になると思う。子ども会に参加しないという、都市型地域に近くなってきている。「入っていればよかった」と思うように、参加しているみんなで活動を充実させるのも大切だと思う。
- 地域の行事に参加する意識が親子とも低くなってきている。少人数でも可能な範囲で地域の行事に参加させることが大切だと思う。参加した児童が学校にもどって伝えることで、効果が上がるのではないか。
- 保護者は自分の子供の近くだけを見るのではなく、もう少し視野を広げると良いと思う。子供の記憶に残るように、親として、地域のために活動している姿を見せることは、大変重要である。

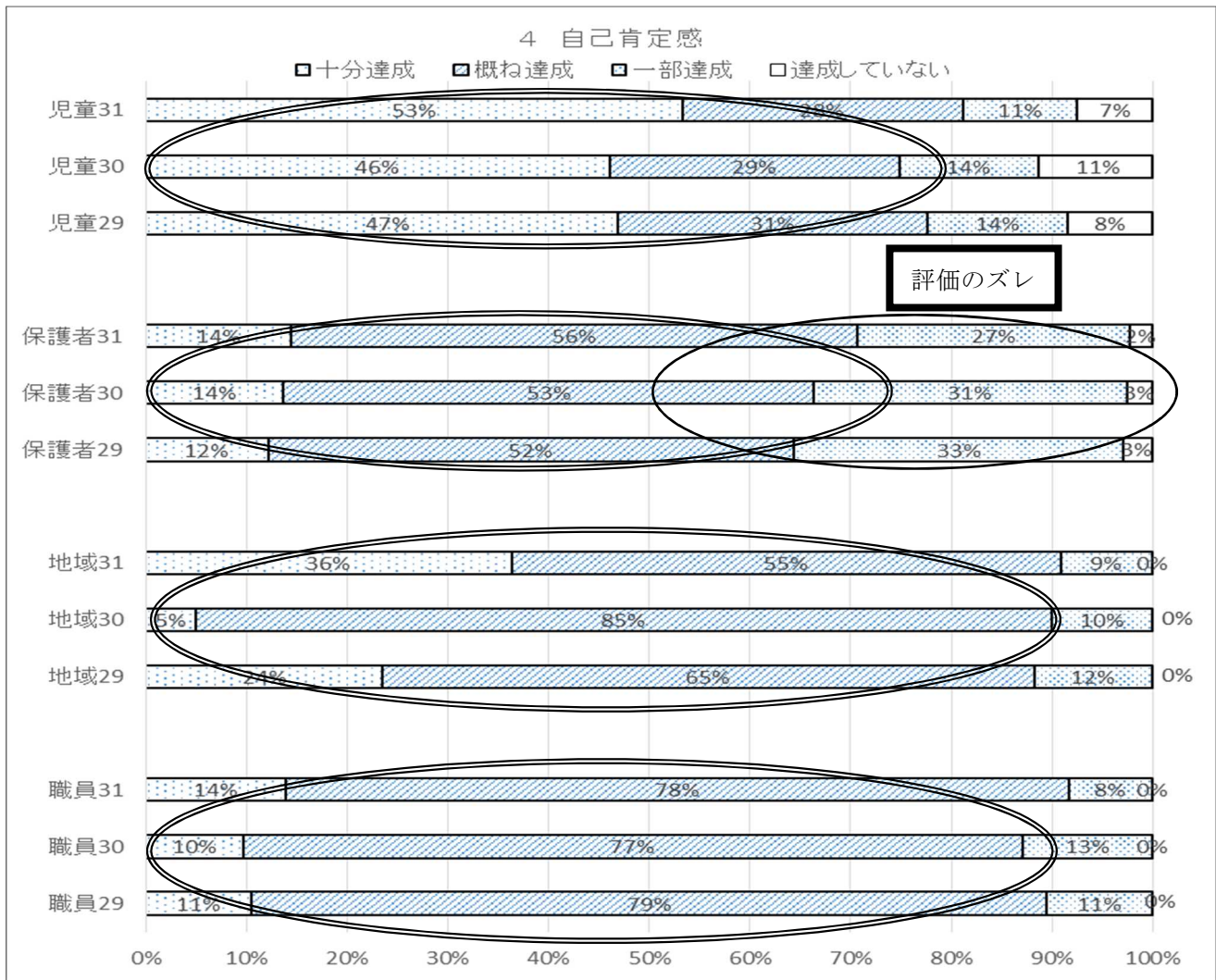
【学校から】

- 「地域との関わりを深める」「学校の状況や子供の様子を伝える」「安全安心な学校づくり」は、児童・保護者・地域・職員とも昨年度に続き、80%を超える高い評価をいただきました。学校支援地域本部（にこにこ本部）を通じた学校ボランティアの方々による学習支援は、本校の教育活動全体を支えていただいております。一方、昨年に引き続き、保護者の方からボランティアやPTA活動等への負担が大きいという御意見もいただきました。七北田小の質の高い教育活動を継続していくためには、地域の皆様や保護者の皆様のこれまで同様の御協力が欠かせません。ボランティアやPTA活動等にも、各御家庭でできる範囲の御協力をお願いします。
- 「子ども会や地域行事への参加を促す」については、地域・職員は「概ね達成」しているという評価でしたが、保護者では半数が一部達成・達成していないという評価でした。両者には若干のズレが生じています。また、「地域行事などへの参加」では、一部達成・達成していないという割合が高くなっています。学校での活動で深めている「地域との関わり」を生かしていけるように、今後も児童への声掛けを継続していきたいと思えます。

【学校運営反省会】

- いさけ：地域行事等の内容について、まだよくわかっていない家庭もある。休日は家族と過ごす時間を大切にしているようだ。一人では不安なため、友達が来るか分からない行事には行きたがらない。いろいろな行事に進んで参加するように声掛けする事が大事。
- 1年：にこにこ本部の活動を通して、身近な地域の方とつながることができた。子ども会やPTA行事への参加については、積極的とは言えないと思う。中学校との連携については、おはようデー等、今後も継続していきたい。
- 2年：昨年度お世話になったにこにこ本部のサポーターや、保護者の方々のお借りして、七北田の地域へ「町たんけん」で御支援いただいた。2年生は地域とつながる機会が少ない。どんと祭や地域の祭などには、家族で積極的に参加している姿が見られる。
- 3年：総合「3年生教室」の活動を通して、にこ本の協力を得ながら、地域のお年寄りとの関わりを深めることができた。児童アンケートにおいて「十分達成」と回答した割合は、「3-1 地域との関わりを深める」が63%、「3-4 子ども会・地域行事への参加」が60%と高く、好ましい傾向が見られた。
- 4年：総合の学習で七北田歴史探検団の方々と交流し、学んだことを伝え合う活動を行った。防災の学習では、自分たちにできることを考え、地域避難訓練に参加する児童もみられた。家庭での地域行事への参加は、親の転勤や仕事の関係で難しいという意見もある。
- 5年：総合「七北田みんなのいちばん☆」の学習で地域と関わってきた。今年度は学校に関わる人や、これまで1～4年生でお世話になった地域の方々に絞ったことで、より地域の方に支えられていることに実感を持って学習できたようだった。地域行事への参加という点では、土日は仕事や習い事などで参加が難しい家庭も多くあるようだった。学校からどのように働きかけられるかが難しい。みんなでジャンプは多くの参加があったので、学校とのつながりがあると、子供たちも参加しやすいのでは。
- 6年：すいせん通りの活動を継続させ、沿道の店の方に手紙を渡す等、新しい取組も始めることができた。「地元賛歌」との出会いにより、地域への思いを深めて行事に参加することができた。

4 自分の良いところ（長所）をいえますか？



【自由記述】

- 自己肯定感が高まるような言葉掛けや対応は不十分だと思います。子供が傷つくような言葉や態度を大人、先生方がとっていることを子供はちゃんと見ており、家庭で話しています。せめて、子供に圧をかけるような態度は控えて頂きたいです。
- 自己肯定感を高めるためにどのような取り組みをしているかわかりにくいです。ふだんから教室の中で、一人一人に声掛けをしていただけたらと思います。

【学校評議員・学校関係者評価委員会から】

- 学力とは、教科書で学ぶ力と体験を通して身に付ける力がある。七北田小が大切にしている、地域の一員として地域の人と進んで関わり、よりよい地域づくりに取り組む学習の重要性をもっと保護者に伝えていく必要がある。

【学校から】

- 保護者の十分達成・概ね達成の評価が少しずつ伸びています。児童の評価も81%（+6）と伸びていることから、御家庭での生活や学校生活の中で、自分の長所を見つけられるような取り組みの成果が徐々に表れているものと考えています。
- 学校には、様々な個性を持つ子供たちが通っています。お互いを尊重し、一人一人の個性を伸ばしていけるように、今後も保護者の皆様や地域の皆様と協力して、様々な体験や社会と関わる機会を増やしていきたいと思っています。

【学校運営反省会】

いさけ：当番活動のとき「ありがとう」「助かるなあ」「えらいね」など、学習活動のとき「できたね」「上手だね」「えらいね」など、いちいち褒める。褒めて伸ばす。一人一人への声掛けを継続していきたい。児童、保護者、地域、職員の立場によって感じ方の違いがあるようである。保護者へ自己肯定感を高める取組についての発信も今後必要であると思う。書写の校内研究を継続してきた。学習により自己肯定感が高まったこともあったと感じている。

- 1年：係活動や当番活動を通して一人一人に意図的に役割を与えている。クラスごとに帰りの会などで頑張っていた友達を賞賛する活動を継続している。個別の支援が必要な児童へのかかわり方も、担任だけではなく、学年全体で情報を共有しながら見守りや指導を続けている。保護者とも密に連絡を取るように心掛けている。
- 2年：学校にも慣れて、行事やグループ活動などに主体的に取り組む様子が見られる。認め、褒め、その子に応じたアドバイスを適宜行う取組を学年で続けてきたことが、昨年から6%向上している要因と考えられる。一方で、友達とのコミュニケーションに困難を感じている児童もおり、友達とよい関わりができるように指導を継続したい。保護者との信頼感をもとに連携を図って指導に力を入れていきたい。
- 3年：自分の得意なことに積極的に取り組む、頑張っている子を称賛するという面が育ってきている。「○○さん」の活動では、友達のいいところを進んで見つけて、付箋に書いている子が多かった。これからも、互いの良さを認め合う姿勢を身に付けさせていきたい。
- 4年：できている子に着目して褒めることで授業や行事などに取り組んできた。年末に行った「今日の○○さん」がよかった。機会を見てやっていきたい。休み明けのアイスブレイクでP4Cを行った。聞いてもらっていると言う実感が持て、自己肯定感につながるように感じた。機会を見て実施していきたい。
- 5年：自己肯定感が高い児童が多いので、このままさらに伸ばしていきたい。クラスマッチ、朝マラソンや持久走記録会、なわ跳びなど「がんばればできる」「やればできる」経験を積ませてきたので、3月まで続けていきたい。
- 6年：毎朝、友達を一人選んで、放課後にその子の「いいところ」を書くようにしている。翌朝、前日の友達への「いいところ」を紹介している。紹介されている本人は、にこやかにうれしそうな様子が見られる。取組方法や紹介の仕方に改善が必要だと感じている。

【その他 自由記述】

- 娘から「先生に褒められた」などと時々聞いています。とてもうれしそうです。「先生が見てくれている」ということを小さなことでもいいので知りたいと思っています。そこで、連絡帳をもっと活用するのはいかがでしょうか。しかし、お手間かと思うので、付箋のようなものに「～なことがありました」「お友達が〇〇と言っていました。」と1文でいいので連絡帳に貼り付けて持ち帰らせていただくと、親と子もうれしく励みになり、会話ははずむと思います。
- 低学年のうち、連絡帳の記載等個人レベルのケアがもう少しほしい。忙しいとは思いますが。
- すでに様々な取り組みを行っていただき、感謝しております。現代社会は、自分さえ良ければいいという感情になりやすく、周りの方、お友達に対して思いやりを持って行動できるように家庭でも伝えております。学校でもより一層のフォローと声掛けをしていただければ幸いです。
- 学校に楽しく行っているようで、うれしく思います。これからもよろしく願います。
- 一人一人の個性を尊重し伸ばしていく教育をしてほしいです。子供の成長は実際の経験が必要だと思うので、具体的な体験や社会との関わりの機会を今後もっと拡充して行ってほしいです。
- 子供が理解できていない所は力を入れてほしい。本人が「わからない」で終わっているが、担任、先生方にはそれが把握されていないのは問題だと思います。
- テレビで「書き方」の力を伸ばしている学校があると知りました。七北田小でも取り入れてほしいです。
- クラスにいる問題の多い子に対してのアプローチをしっかりとしてほしい。
- お世話になっております。力を入れてほしい事としては、日常生活を安全にすごせる様、配慮いただけるとありがたいです。特に、子供同士での暴力について関心があります。小さな暴力が大きな事件につながる場合もあると思います。先生方はお忙しい事とは思いますが、気に掛けて頂けますでしょうか。よろしくお願いいたします。
- いじめ調査や防災訓練、今までの他の小学校に比べて力を入れていて感心した。
- 先生方には十分良くしていただいています。家庭でできることをもう少し努力しなければと思います。
- 校内の雰囲気良く、先生方の指導も行き届いていると思います。今後も子供たちが楽しく通える学校づくりをお願いします。
- 地域全体で集団登校があると安心です。
- 仕事があるのは十分理解していますが、休み時間の様子や見守りなど職員室では気付けないことがたくさんあるのではないのでしょうか。
- 家庭学習を選択制にして、子供に合った、足りない部分を補足できたらと思います。学校からの課題を終えたあとでは、日記などの自分で考えて書く作業が苦痛になる様子だからです。先生の負担にならないもので充分です。地域の行事への参加を希望しておりますが、習い事と重なり参加させられません。
- 地域とのつながりや、PTA 活動に力を入れているのは良いと思いますが、参加を義務のように感じてしまう時があり、少し息苦しく感じたことがあります。あくまでも、その家庭でできる範囲でという点を強調してお便りなどを出してほしいです。
- 10月に行われた緊急時下校訓練の時に、一人で下校していたので、もし可能であれば、同じマンションごとにグループで帰宅させるなど集団下校を促していただけたら、より安心感があるかと思いました。
- 4時間授業が多い気がします。気のせいでしょうか。勉強にももっと力を入れてほしいです。
- アンケートはGOOGLE フォームを利用すると配布回答集計すべて手間が省けて楽です。
- いろいろな取り組みをしていただきありがたく思います。子供も楽しく充実した学校生活を送れています。

- 仕事で早く帰れないお母さんのために、児童館に入っていない子の昼食の場所（安全な所）を作ってほしい。4校時や3校時、臨時休校等の日は、児童館での弁当持参参加ができないため。図書館、体育館開放など弁当持参で遊ぶ場所。もしくは、児童館に回数での支払いで利用できるようにしてほしい。
- 中学校の不登校が多いという話を聞くので、安心できる居場所が家庭だけではなく、学校もその一つだと思えるように小学校のうちから友人や先生方との絆を築いてほしい。
- 他校のように、「ノーゲームデー」を設ける。兄弟姉妹間で差が出ないように全校で実施するのが望ましい。
- PTA 活動の必要性はあるのか。様々な家庭環境（一人親、共働き等）があるなか、本当に必要か？校内清掃、花植え→子供たちでできないか？研修→必要か？出席人数が減っている状況。企画しても人がこない。ゆめフェス→子供ブースだけで充分ではないのか？とてつもない労力。
- 一部閉鎖的な考えや言動をしている人がいると思います。自分と違う部分を認め合ったりほめ合ったりできるような考えを持てるようにしてほしいです。
- 取り組もうとする志、目標としていることはすばらしいと思うが、仕事をしている、転勤族など目標に向けた取り組みをするのが困難な御家庭もあると思われます。そのような状況も踏まえた関わり方というものも考えていただければと思います。
- いじめについてあまり堅苦しく取り上げるとだれも何も言えなくなると思うので、多少のことならジョークにして返せるような明るくたくましい心の育成を目指してもらえたら十分です。
- 先生と PTA の負担を減らしてほしい。（ゆめフェス縮小など）
- おたよりがいろいろあって、同じ内容が書かれていて混乱するので、学年だよりとクラスだよりを一つにまとめてもらえないか。おたよりの挨拶は2、3行またはなくても良いのでは。保護者としては、行事予定や連絡事項さえ分かればいいです。おたよりの写真も掲載しなくていいかと思います。何が写っているか見えないので。見えたら個人情報とか気にする人もいるので。
- 学校へお願いをしたことや子供の様子などを知らせてほしいとお伝えしても何も返答ない。
- 自分で考えて実行する意見を言う機会を多く設けてほしい。グループではなく個人で。
- 子供は毎日元気に明るく登校しており、これは先生が楽しい学校づくりをしてくださっているおかげだと感謝しております。給食を残す人が多いと聞き、気になりました。「給食を残さず食べる」という意識が子供たちに少ないのかなと残念に思っています。無理に食べさせることはもちろんできませんが、食べ物を大事にする、給食を作ってくれた方に感謝してなるべく残さずにいただくということは、とても大切なことのように思います。子供たちが無理せず自然と残さずに食べられるような取り組みをしていただけたらと思っています。
- いつもいろいろな取り組みをありがとうございます。何も特別な行事がなくても良いので、先生と子供たちがゆっくりのんびり過ごせる時間がたくさんあるといいなと思います。
- 子供の発達障害についてもっと勉強していただきたい。我が子に限らず、10人に1人はいると言われてこの時代、学校側がそういう子供は特別で問題児扱いをしている傾向にあるように感じます。問題を起こさないように押さえつける言い方も子供から聞いています。もちろん大事にならないようにだと思いますが、ひとつの個性としてほめて伸ばしてほしいです。いつも注意しかされていないようで「ぼくは勉強ができないバカなんだ」と言っています。彼は記憶力がとても良いので、そういう嫌な記憶は忘れません。改善してほしいです。
- この学校に入学させて良かったと強く思っています。これからもよろしくお願いします。
- 毎年書いていますが、食育をかねて、給食は班ごととグループごとに食べてほしい。七中、市小がそうしているのに、七小だけ皆前を向いて食べるのは、食を楽しむ上でもどうかと思う。地域との関わりを重視する前に、友達との関わりを持つためにもそうすべきだと思います。

□ 食育をやってほしいです。給食が残念な感じなので、もっと量を増やして栄養いっぱい、おいしい給食にしてほしいです。お肉が少なく、ソーセージばかりでびっくりしました。給食費がどんどん上げてもらって良いので、加工品ばかりではなく、お肉や野菜もしっかり入れてほしい。フルーツも1/8カットのオレンジじゃ切なすぎます。食べることは生きることなので、その大切さをもっと楽しみながら学校の仲間たちと知ってほしい。

アンケートが記名式だと本音を書けないと思います。なぜ、人のために働かないといけないのか、なぜ、友達の輪を広げないといけないのか、なぜ、地域とつながらないといけないのか、子供たちに教えていってください。"

□ 自分で考える機会を多く設けてほしい。個人で考えて実行する機会。

□ 子供間のトラブルが発生した時には、双方の意見を十分に聞いた上での判断をお願いします。クラスの児童数が多いので、先生の御負担は大変なものとして認識していますが、多感な時期でもある今だからこそ、一人一人の話をきちんと聞いてほしいです。

● 家ではゲームばかりしている。もっと友達と遊んでほしい。

● 毎年、その学年で行われる行事をきちんと実行してほしい。5年前4年生だった兄はこけし作りがあったのに、昨年の4年生はこけし作りがなく、今年の4年生はこけし作りがあったので、今の5年生はこけし作りの経験がなく、不平等ではないか。

□ 作文の書き方を教えてほしい。学校の状況や子供の様子をもっと伝えてほしい。

□ 子ども会、PTA 行事は時代とともに形を変えていく必要があると思います。現状、親も子も負担です。

□ PTA 役員の必要性を検討してほしい負担になっている。

□ 高学年になると忙しいので、放課後に図書室に行ける日をつくってほしいです。朝はマラソン、日中はいろいろ忙しいらしいので、それと放課後に過ごす場所のない子もいる気がするので、図書室で過ごせたらいいかなと思います。

○ 5年生は、クラスマッチや持久走などみんなで楽しみながら様々なことにチャレンジしていて、子供たちがいきいき活動している印象があります。先生方、いつもありがとうございます。異学年交流もこれからも続けていってほしいと思います。

○ 七北田小のお子さんの印象。笑顔であいさつ。他の学校のお子さんはあいさつをこちらからしてようやくしたり、しなかったり。当たり前でできるってすごいと思います。ずっと続けてほしいと思います。

○ 一人一人の個性を伸ばし、認める日々の在り方を、担任の先生や主任の先生がしてくださっています。それが、子供たちにとっても良い影響となり、いじめ防止にもつながっていると感じます。異なる個性を認める心の広さが養われていると思います。

□ 時々、週末に作文の宿題を出していただきありがたいと思っております。しかし、作文を提出した後は回収されたままで、3月にまとめて返却されることが多いです。できれば、文の構成の仕方や言葉遣いなどの添削をしていただいてから1週間以内に返却していただけるとありがたいです。そのようなことの繰り返しですが、様々な教科の学力向上につながっていくのではないかと思います。

□ 効率的な宿題にしてください。作文は添削してください。月1回でいいので。

○ 現状に特に不満はありません。先生方の御指導にはいつも感謝しております。"

● 先生方同士のコミュニケーションができていれば、子供たちや地域の方々とのつながりもより一層広がることと思います。ここ1~2年、先生方のコミュニケーションが足りないと思います。6年生はとても充実して過ごしていると思います。

○ 色々な分野で子供たちに経験などをさせていただき、とても良いと思います。しかし、家庭で生かせてないので反省です。子供との時間を作っていかなければと思います。

- 6年生の先生方と子供たちは地域の方との関わりがとても充実しているように思われます。全体的に先生方とせっかく時間を作って来てくださる地域の方とのコミュニケーションが足りないように思われます。事務的な関わり方にしか見えず残念です。
 - 規則で縛るのではなく、自主性を大切にされている雰囲気がとても良いと思います。
 - 作文の指導をもっとしてほしい。感想文をもっと書かせてほしい。テーマを与えてただ書きなさいだけでなく、文の構成や表現方法を具体的に教えてほしい。
 - 最近、不審者等の情報が多いことから外で遊ぶ機会が少なく子供同士のコミュニケーションが少なくなっている。校庭で遊べる時間があれば良いが難しいか。
 - 地域の方々にあいさつはしっかりと行っている様子が見えます。七北田小の子供たちは、明朗で元気なところが見えます。これも校長先生の教職員への指導だと思います。
 - 少し前に、隣のお子さんから修学旅行のおみやげをいただきました。こんなことは今までに一度もなかったことなので、大変うれしかったです。七北田小学校の生徒は本当に良い生徒ですね。
 - 「行事で子供が育つ」ことは肯定するが、あまりに通常の授業を軽んじてはいないか。カリキュラムの遅れ、はしょりが目立つし、子供が落ち着いて生活できていないのではと感じる。清掃や給食の状況も心配している。学年行事も多すぎると思う。
- 1年間の見通しをしっかりと立てて、計画的に行うバランスが大切。「までいに」(ゆっくり・ていねいに)が必要で心掛けたい。